

2 学期	<p>F「真の自立とは」(鷺田清一) G「無駄と進化」(中屋敷 均)</p> <p>【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。</p>				<p>【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代社会に関心を持ち、筆者の説く内容を理解して自分の考えを深め、他者と話し合いをしたうえで、「自立」について自分の考えをまとめようとしている。 ・遺伝子の変異についての筆者の主張を理解し、無駄と思われるもの、予定外に起こることなどへの考えを深め、まとめようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1	
3 学期	<p>H「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」(松田雄馬)</p> <p>【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。</p>				<p>【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の人間と人工知能の比較を通し、「自分の人生を生きる」行為について、自分の考えをもち、さらに深めようとしている。 ・新聞等で人工知能についての情報を収集し、人工知能のメリット、デメリット、扱い方等について考えをまとめようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1	
合計										
70										

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： 佐野（1組～4組） 角（5～7組）

使用教科書：（「精選現代の国語」東京書籍）

教科 国語 の目標：

- 【知識 及び 技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A「まだ知らない自分に出会う」 （松村圭一郎） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。		○	○	○				9
	定期考査					○	○			1
	B「水の東西」（山崎正和） C「今ここにある無数の未知」（石川直樹） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。		○	○	○				14
定期考査						○	○			1
2 学 期	D「まちの豊かさとは何か」（山崎亮） E「少女たちの『ひろしま』」（梯久美子） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。		○	○	○				14
	定期考査					○	○			1





高等学校 令和8年度 教科

地理歴史

科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1～5組：松野) (6～7組：小黒)

使用教科書： (教科書：帝国書院「新地理総合」 地図帳：帝国書院「新詳高等地図」 資料集：帝国書院『世界の諸地域NOW2026』)

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	地図でとらえる現代世界 【知識及び技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム (GIS) の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。	・緯度経度、地図の種類、統計地図、GISなど ・教材 教科書・地図帳 ・一人1 台端末を活用し、適宜地理院地図やGoogleEarthなどを扱う。	【知識・技能】 地図の読図などを基に、地図や地理情報システム (GIS) の役割や有用性などについて理解している。地図やGISを用いて、情報を収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図やGISについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図やGISを活用し、社会の課題を主体的に追究、解決しようとしている。				5	
	結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・領域の三要素、国境、排他的経済水域、国際連合、南北・南南問題、グローバル化と通信技術など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1 台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、国内や国家間の結び付きについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。				5	
	中間考査							1
	世界の地形と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地形的特徴や自然によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。	・営力、変動帯、安定地域、プレート、火山、地震、河川地形、海岸地形、氷河地形、地形が生活に与える影響など ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1 台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を、地形に由来する自然環境から影響を受けたり、あるいは影響を与えたりして多様性をもつことや、自然環境の変化によって変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる地形的特徴や自然との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地形的特徴や自然によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。				9	
世界の気候と人々の生活 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と生活文化の関係性に着目して、人間の生活の工夫について主体的に追究、解決しようとしている。	・大気の大循環、ケッペンの気候区分、気候区分ごとの植生、気候と生活文化 (衣食住) の関係性、モンスーンなど ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1 台端末の活用、地理院地図・Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が気候から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、気候の変化によって変容することなどについて理解できている。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や気候との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 気候変動によってもたらされるさまざまな災害に対して、目指される取り組みを主体的に追究、解決しようとしている。				9		
期末考査							1	

教科： 公民 科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1組： 藤本 ) (2組： 藤本 ) (3組： 藤本 ) (4組： 藤本 ) (5組： 藤本 ) (6組： 藤本 ) (7組： 藤本 )

使用教科書： ( 詳述公共 新訂版 (実教出版) )

科目	公民	公共
【知識及び技能】	・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自覚を養い、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民として、自覚を養い、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目	公民	公共
【知識及び技能】	・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調整、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解する。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考える。	・現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自覚を養い、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	【学びに向かう力、人間性等】				配当 時数
			知	思	態		
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解する。</li> <li>・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考える。</li> <li>・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間をつくる私たちに、現代の諸課題を主体的に解決する。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1編 公共の扉</li> <li>第1章 公共的な空間をつくる私たち</li> <li>第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方</li> <li>第3章 公共的な空間における基本的原理</li> </ul> <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを理解している。</li> <li>・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。</li> <li>・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間をつくる私たちに、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	9	
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調整、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの偏見や差別・不平等、自由が保障されていない問題について理解し、その解決策を考える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決する。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち</li> <li>第3章 法的な主体となる私たち</li> </ul> <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調整、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの偏見や差別・不平等、自由が保障されていない問題について理解し、その解決策を考えている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	13	
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい社会の実現を視野に、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福、正義、公正などに着目して、民主政治における個人と国家のあり方について、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治参加と公正な世論の形成、国際社会のルールと仕組み、国際社会と平和主義に関わる諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2章 政治的な主体となる私たち</li> </ul> <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい社会の実現を視野に、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福、正義、公正などに着目して、民主政治における個人と国家のあり方について、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の政治参加、国際政治の諸課題について、主体的に考察し、主権者として社会に関わる意識を高めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	9	
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させた国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福、正義、公正などに着目して、主として経済に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させて、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きに関わる諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3編 経済的な主体となる私たち</li> </ul> <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済と市場、金融の働き、財政の役割と持続可能な社会保障制度、労働者と労働問題、グローバル化する国際経済などに関わる事柄や課題を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福、正義、公正などに着目して、主として経済に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、その主題の解決に向けて論議をもって表現している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の経済と市場、金融の働き、財政の役割と持続可能な社会保障制度、労働者と労働問題、グローバル化する国際経済などについて、自己の生活と結びつけて考察しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	11	
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの習得した知識・技能を活用し、それぞれが選択した現代社会の諸課題について、必要な情報を収集し、まとめている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、社会の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見出し、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指摘して、論議を基に自分の考えを説明、論述する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</li> </ul> <p>【使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの習得した知識・技能を活用し、それぞれが選択した現代社会の諸課題について、必要な情報を収集し、まとめている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を基に地域社会や国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成の課題を見出し、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、論議を基に自分の考えを説明、論述している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12	
<p>定期考査</p>			○	○		1	

2 学 期	<p>3章 2次関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数を決定するための条件について基礎的な知識を身に付け、グラフに関する条件から2次関数を決定することができる。</li> <li>・ 判別式を用いて、2次方程式の解の個数を調べることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数のグラフとx軸の共有点について、2次方程式の実数解と関連させて考察することができる。</li> <li>・ 2次方程式の実数解の個数に対する判別式の意義や有用性について考察することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数のグラフとx軸の共有点を、2次方程式の実数解と関連づけて考えようとしている。</li> <li>・ 判別式を活用して2次方程式の実数解の個数の分析を考えようとしている。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>3章 2次関数とそのグラフ</p> <p>1節 2次関数と2次不等式</p> <p>2節 2次関数のグラフとx軸の共有点</p> <p>5 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	14
	<p>3章 2次関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次不等式の解と2次関数のグラフの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次不等式を利用して具体的な問題について解決することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係を活用して2次不等式の解を考えようとしている。</li> </ul>	<p>3章 2次関数</p> <p>2節 2次方程式と2次不等式</p> <p>6 2次不等式</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次不等式を利用して具体的な問題について解決することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係を活用して2次不等式の解を考えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	9
	<p>4章 図形と計量</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正接、正弦、余弦の意味を理解し、それらを用いて三角形の辺の長さを求めることができる。</li> <li>・ 正弦定理や余弦定理を用いて、外接円の半径を求めたり、既知の辺や角から残りの辺や角の大きさを求めたりすることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象を三角比を利用してその問題を解決することができる。</li> <li>・ 三角比を用いて三角形の構成要素間の関係を考察したり、それらの関係が一般の三角形においても成り立つことを説明したりすることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三平方の定理や正接の定義を利用して、三角比の間に成り立つ関係を考えようとしている。</li> <li>・ 点の座標を用いて鋭角の三角比を表現したり、それをもとにして鈍角の三角比の定義について考えたりしようとしている。</li> <li>・ 三角比を用いて三角形の面積公式を導こうとしている。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>4章 図形と計量</p> <p>1節 鋭角の三角比</p> <p>1 直角三角形と三角比</p> <p>2 三角比の相互関係</p> <p>2節 三角比の拡張</p> <p>1 三角比と座標</p> <p>2 三角比の性質</p> <p>3節 三角比への応用</p> <p>1 正弦定理・余弦定理・面積の公式</p> <p>2 空間図形の計量</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。</li> <li>・ 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。</li> <li>・ 三角比を鈍角まで拡張する意義と、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。</li> <li>・ 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図形と計量で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。</li> <li>・ 図形と計量で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	17
<p>5章 データの分析</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 偏差、分散、標準偏差の定義とその意味や特徴を理解し、データをもとにそれらを求めることができる。</li> <li>・ 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 偏差の総和を用いてデータの散らばりの大きさを表す方法の短所を見出し、分散の定義について考察したり、標準偏差を用いることの意義について説明したりすることができる。</li> <li>・ 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 偏差の総和を用いてデータの散らばりの大きさを表す方法の短所を見出し、分散の定義や標準偏差を用いる意義について考察したりしようとしている。</li> <li>・ 不確実な事象の起こりやすさに着目し、首長の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりしようとしている。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>5章 データの分析</p> <p>1節 データの分析</p> <p>1 データの散らばり</p> <p>2 データの相関</p> <p>2節 データの分析の応用</p> <p>1 データの分析を利用した問題解決</p> <p>3節 仮説検定の考え方</p> <p>1 仮説検定の考え方</p> <p>2 不等式の応用</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解している。</li> <li>・ コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。</li> <li>・ 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。</li> <li>・ 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。</li> <li>・ 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データの分析で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。</li> <li>・ データの分析で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	26	
	<p>定期考査</p>			○	○		1

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組  
 教科担当： (1組：石井/春田) (2組：石井/森) (3組：春田/井出) (4組：春田/井出) (5組：石井/森) (6組：春田/井出) (7組：石井/森)  
 使用教科書： ( 新編 数学 I 数研出版 )

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表し、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 章 数と式 【知識及び技能】 ・ 指数法則や乗法公式といった計算規則についての理解を深め、適切に式を変形することができる。 ・ 乗法公式を逆に用いることで因数分解の公式として利用できることを理解し、式を正しく因数分解することができる。 ・ 不等式の意味やその基本性質、不等式の解と不等式を解くことの意味について理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 式を多面的に捉える工夫の中から、目的に応じて適切な方法を判断することができる。 ・ 式の特徴に応じて、式の一部を1つの文字に置き換えて考えたり、特定の文字に着目して整理するなど、見通しをもって式を因数分解したりすることができる。 ・ 具体的な数の大小関係をもとにして、不等式の基本性質について考察したり、説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 式を多面的に捉えて、複数の方法で式を変形する方法について、それぞれのよさを比較・検討しようとしている。 ・ 式を多面的に捉えて、複数の見方で式を整理して因数分解する方法について、それぞれの良さを比較・検討しようとしている。 ・ 具体的な数の大小関係をもとにして、不等式の基本性質について考察したり、説明したりしようとしている。	1 章 数と式 1 節 式の計算 1 展開 2 節 因数分解 1 実数 2 根号を含む式の計算 3 節 1次不等式 1 不等式と1次不等式 2 不等式の応用	【知識・技能】 ・ 2次の乗法公式、因数分解の公式について理解を深めている。 ・ 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 ・ 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 問題を解決する際、すでに学んだ計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・ 不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察することができる。 ・ 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 数と式で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 数と式で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1
2 章 集合と論証 【知識及び技能】 ・ 集合に関する基本的な概念や記号の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・ 命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件の用語の定義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考察することができる。 ・ 条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け、図表示による表現を用いて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考えようとしている。 ・ 条件や命題の真偽について、それらを集合の包含関係と関連付け、図表示による表現を用いて考えようとしている。	2 章 集合と論証 1 節 集合 1 集合 2 節 命題と論証 1 命題と条件 2 論証	【知識・技能】 ・ 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 集合と論証で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 集合と論証で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
3 章 2次関数 【知識及び技能】 ・ 2次関数の意味や関数の値の表し方、及び2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、2次関数の式を平方完成するなどして、グラフをかきことができる。 ・ 関数の定義域・値域の意味を理解し、1次関数や2次関数のグラフを用いて最大値、最小値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 2つの2次関数のグラフの位置関係について考察することができる。 ・ 2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を論理的に考察したり、具体的な問題の解決に活用したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 2つの2次関数のグラフの位置関係について考えようとしている。 ・ 2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を考えようとしている。	3 章 2次関数とそのグラフ 1 節 2次関数とそのグラフ 1 2次関数 2 2次関数の最大・最小	【知識・技能】 ・ 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・ 2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかきなどして多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 2次関数で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>1章 場合の数と確率</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解し、その確率を求めることができる。</li> <li>反復試行の確率を理解し、反復試行の確率を求めることができる。</li> <li>条件付き確率の意味と確率の乗法定理を理解し、条件付き確率を求めることができる。</li> <li>期待値について理解し、期待値を求めたり、期待値を利用して確率を求めたりすることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独立な試行の確率はそれぞれの事象の確率の積に等しいことに着目し、具体例を通して考察することができる。</li> <li>反復試行の確率について、組合せの考え方と関連させて考察することができる。</li> <li>これまで求めてきた確率と条件付き確率の違いを説明することができる。</li> <li>期待値を具体的な問題の意思決定に活用することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独立な試行の確率を求めるために、それぞれの事象の確率の積に着目して、そのことを活用しようとしている。</li> <li>反復試行の確率について、組合せの考え方と関連付けて考えようとしている。</li> <li>期待値を具体的な問題の意思決定に利用しようとしている。</li> </ul>	<p>2節 確率</p> <p>7 独立な試行と確率</p> <p>8 条件付き確率</p> <p>9 期待値</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。</li> <li>条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。</li> <li>確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。</li> <li>確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場合の数と確率で学んだことよきを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。</li> <li>場合の数と確率で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>2章 図形の性質</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比などについて理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。また、数直線上の内分点、外分点の座標を求めることができる。</li> <li>三角形の外心・内心・重心の性質を利用して、角の大きさや線分の長さを求めることができる。</li> <li>チェバの定理、メネラウスの定理を利用していろいろな辺の長さや比を求めることができる。</li> <li>方べきの定理を利用して線分の長さを求めることができる。</li> <li>2つの円の位置関係から補助線を引くことによって、線分の長さを求めることができる。</li> <li>空間における2直線・2平面のなす角を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について、様々な性質を利用しながら考察することができる。</li> <li>円に内接する四角形の定理、接線と弦のつくる角の定理それぞれの証明について、円周角の定理を利用して考察することができる。</li> <li>方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考察することができる。</li> <li>空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上に含まれる直線に着目して考察したり、説明したりすることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の外心・内心・重心の存在とその証明について、様々な性質を利用しながら考えようとしている。</li> <li>方べきの定理の証明について、三角形の相似を利用して考えようとしている。</li> <li>空間における直線と平面の位置関係が垂直になる場合について、平面上に含まれる直線に着目して説明しようとしている。</li> </ul>	<p>2章 図形の性質</p> <p>1節 平面図形</p> <p>1 三角形の辺と比</p> <p>2 三角形の外心・内心・重心</p> <p>3 チェバの定理・メネラウスの定理</p> <p>4 円に内接する四角形</p> <p>5 円と直線</p> <p>6 2つの円</p> <p>7 作図</p> <p>2節 空間図形</p> <p>8 直線と平面</p> <p>9 空間図形と多面体</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形に関する基本的な性質について理解している。</li> <li>円に関する基本的な性質について理解している。</li> <li>空間図形に関する基本的な性質について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形の構成要素間の関係や既に学んだ図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。</li> <li>コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形の性質で学んだことよきを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。</li> <li>図形の性質で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
定期考査				○	○		1
3 学 期	<p>3章 数学と人間の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>倍数の判定法を利用して倍数を理解している。</li> <li>素因数分解を用いて約数を調べることができる。</li> <li>最大公約数・最小公倍数を求めることができる。</li> <li>あまりの性質を理解している。</li> <li>ユークリッドの互除法を用いて最大公約数を求めることができる。</li> <li>互除法を活用して1次不定方程式を求めることができる。</li> <li>n進法の特徴を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユークリッドの互除法の仕組みを考察することができる。</li> <li>空間内の点の位置を表す方法を考察することができる。</li> <li>1次不定方程式を活用して問題を考察することができる。</li> <li>n進法の特徴について考察することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユークリッドの互除法の仕組みを考えようとしている。</li> <li>空間内の点の位置を表す方法を考えようとしている。</li> <li>問題について2元1次不定方程式を活用して考えようとしている。</li> <li>n進法の特徴について考えようとしている。</li> </ul>	<p>3章 数学と人間の活動</p> <p>1 約数と倍数</p> <p>2 素数と素因数分解</p> <p>3 最大公約数・最小公倍数</p> <p>4 整数の割り算</p> <p>5 ユークリッドの互除法</p> <p>6 1次不定方程式</p> <p>7 記数法</p> <p>8 座標の考え方</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解している。</li> <li>整数の性質や余りの性質を理解している。</li> <li>数学史的話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。</li> <li>パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数学と人間の活動で学んだことよきを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。</li> <li>数学と人間の活動で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	17
定期考査				○	○		1

高等学校 令和8年度（1学年用）教科

数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組  
 教科担当室： (1組：井上) (2組：井出) (3組：山田) (4組：井上) (5組：井出) (6組：山田) (7組：井出)  
 使用教科書： (新編 数学A 数研出版)

教科 数学 の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	記号 時数
準備 集合、1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・集合に関する基本的な概念や記号の意味を理解し、適切に用いることができる。 ・具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考察することができる。 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体的な集合の例をもとにして、集合同士の共通部分や和集合の概念について考えようとしている。 ・場合の数と確率で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・場合の数と確率で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	準備 集合 1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1 集合の要素の個数 2 場合の数	【知識・技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・和集合・補集合の要素の個数、和の法則や積の法則を利用した場合の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・集合の要素の個数を図や補集合を用いて考察したり、和の法則や積の法則を利用して場合の数を計算したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集合の要素の個数を図や補集合を用いて考えたり、積の法則による場合の数の計算方法を考えたりしようとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・場合の数と確率で学んだことを活用した問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	1節 場合の数 3 順列 4 組合せ	【知識・技能】 ・順列の総数 $nPr$ や階乗の値や条件のある並び方の総数などを計算することができる。 ・円順列や重複順列について理解し、それらの総数を計算することができる。 ・組合せの総数 $nCr$ を理解し、計算することができる。 ・順列や組合せの考えを用いて、同じものを含む順列の求め方を理解し、総数を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・選び方の違いによって、その総数の求め方が組合せになるか順列になるかを説明することができる。 ・選び方の総数が一致する場合の法則性を考察することができる。 ・同じものを含む順列の総数の求め方を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列や組合せの考えを用いて、選び方の総数が一致する場合の法則性や同じものを含む順列の総数の求め方を考えようとしている。 ・円順列及び重複順列について図をかきなどしながら、立式した場合の数の求め方を考えようとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
1章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・事象を集合で表したり、事象の確率を求めたりすることができる。 ・積事象と和事象の確率について理解している。 ・排反事象と確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができる。 ・確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同様に確からしいことを利用して、事象の確率の考え方を説明することができる。 ・互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ・余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき、余事象を積極的に活用しようとしている。	1章 場合の数と確率 2節 確率 5 事象と確率 6 確率の基本性質	【知識・技能】 ・事象を集合で表したり、事象の確率を求めたりすることができる。 ・積事象と和事象の確率について理解している。 ・排反事象と確率の加法定理について理解し、それらを用いて確率を求めることができる。 ・確率の基本性質や余事象の確率について理解し、和事象の確率や余事象の確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・同様に確からしいことを利用して、事象の確率の考え方を説明することができる。 ・互いに排反でない2つの事象の和事象の確率の求め方や、余事象を用いた確率の求め方について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・同様に確からしい根元事象と関連付けながら事象の確率の考え方を説明しようとしている。 ・余事象を用いて確率を求めることのよさに気づき、余事象を積極的に活用しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 1学年 1組～ 7組

教科担当者：（ 1組、3組、4組、5組、7組：川守田）（2組、6組：岩崎）

使用教科書：（ 新 化学基礎（第一学習社） ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物、現象から疑問を見いだすことができ、その疑問に対して仮説を立てることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 グループワークや実験において自分の意見を発表する等、周囲に対して配慮しながらコミュニケーションをとることができる。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物、現象についての基本的な概念法則を身に付ける。また、実験においては器具を安全に使用することができる。	自然の事物、現象から疑問を見出し、その疑問に対して仮説をすることができる。また、周囲と疑問点に関して議論を行うことができる。	実験やグループワーク等において、他者に配慮しながら行動することができる。また、他者の意見を取り入れながら、自分の考えを熟成させることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	化学とはなにか ・化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学と物質について、問題を見出し、見通しをもって実験などを行い、化学的に考察し表現する。 ・化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり、化学的に探究しようとする態度を養う。	・化学とは何か	・化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・化学の特徴について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	1
	物質の成分と構成元素 ・化学と物質について、物質の分離・精製・単体と化合物、熱運動と物質の三態のものを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・化学と物質について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、化学的に考察し表現する。 ・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、化学的に探究しようとする態度を養う。	・物質の成分 ・物質の構成元素 ・物質の三態	・化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	原子の構造と周期表 ・物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。 ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・原子の構造 ・電子配置と周期表	・物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
	化学結合 ・物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のものを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 ・物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。 ・物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・化学結合と物質の分類	・物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（知識及び技能） ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見出し見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（思考力、判断力、表現力等） ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 1学年 1組～ 7組

教科担当者：（ 1組、2組、4組：岩崎 ）（ 2組、5組、6組、7組：遊佐 ）

使用教科書：（ 高等学校生物基礎<改訂版> 啓林館 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物、現象から疑問を見いだすことができ、その疑問に対して仮説を立てることができる。

【学びに向かう力、人間性等】グループワークや実験において自分の意見を発表する等、周囲に対して配慮しながらコミュニケーションをとることができる。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生命現象や、自然の事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生命現象や、自然の事物・現象について疑問に思ったことを、他者と共有する中で、新たな発見や課題を見つけ、それに対して探究することができる。	生命現象や、自然の事物・現象に対して積極的に関わり、それらに対する気付きから仮説を立て、自ら課題解決を図ろうとする。生命を尊重し、自然環境の保全に努めようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
生物の多様性と共通性 ・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解する。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解する。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解する。	生物の特徴 ・生物の多様性と共通性	・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解している。試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。原核細胞と真核細胞の違いについて、細胞小器官の違いとともに理解している。（知識及び技能） ・生物や細胞の観察から課題を見だし、仮説の設定、実験による検証、調査、結果の分析、考察ができる。（思考力、判断力、表現力等） ・生物や生物現象に授業や実験、観察を通して主体的に関わり、自身の学び方を調整しようとしている。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
細胞とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 ・代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのかを実験を通して見いだす。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解する。	生物の特徴 ・生物とエネルギー	・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。（知識及び技能） ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察、それを表現できる。カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。（思考力、判断力、表現力等） ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
1 学 期 遺伝情報とDNA ・DNAの構造や性質を研究史を展開しながら理解する。DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解する。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解する。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解する。	遺伝子とその働き ・遺伝情報とDNA	・DNAが二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。（知識及び技能） ・資料に基づき、DNAの構造を科学的に見いだすことができる。DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。（思考力、判断力、表現力等） ・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見だし、理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
遺伝情報とタンパク質の合成 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解する。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解する。 ・すべての遺伝子がすべての細胞で発現しているわけではないことを理解する。資料等から、発現する遺伝子の変化により、細胞が分化することを理解する。	遺伝子とその働き ・遺伝情報とタンパク質の合成	・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。（知識及び技能） ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。（思考力、判断力、表現力等） ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。（学びに向かう力、人間性等）	○	○	○	6
定期考査			○	○		1

]

|

# 令和8年度 保健体育科年間授業計画

学年	科目	単位	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
			体育祭まで				中間考査まで				期末考査1週間前まで				マラソン大会まで	
期間			4/13(月)～	4/20(月)～5/15(金)	5/18(月)～6/12(金)	6/15(月)～7/10(金)	9/2(水)～9/11(金)	9/14(月)～10/19(月)	10/26(月)～11/20(金)	11/24(火)～11/30(月)	1/12(月)～2/10(木)	2/15(月)～2/26(金)				
1年	体育	男子 2	オリエンテーション 陸上競技 (50・1000・1500m走)	スポーツテスト (体育祭練習)	ソフトボール	水泳/ソフトボール	水泳/バスケットボール	バスケットボール	サッカー	体育理論	持久走	体育理論				
		女子 2	陸上競技 (50・1000・1500m走)	スポーツテスト (体育祭練習)	バスケットボール	水泳/バスケットボール	水泳/ソフトボール	ソフトボール	バレーボール	体育理論	持久走	体育理論				
	保健 1	1 現代社会と健康				1 現代社会と健康				2 安全な社会生活						
期間			4/13(月)～	4/20(月)～5/15(金)	5/18(月)～6/5(金)	6/8(月)～7/10(金)	9/2(水)～9/11(金)	9/14(月)～10/19(月)	10/26(月)～11/20(金)	11/24(火)～11/30(月)	1/12(月)～2/10(木)	2/15(月)～2/26(金)				
2年	体育	男子 2	オリエンテーション 陸上競技 (50・1000・1500m走)	スポーツテスト (体育祭練習)	ソフトボール	水泳/ソフトボール	水泳/バスケットボール	バスケットボール	サッカー	体育理論	持久走	体育理論				
		1	球技 ネット型:バレーボール				バドミントン				卓球					
	女子 2	陸上競技 (50・1000・1500m走)	スポーツテスト (体育祭練習)	バスケットボール	水泳/バスケットボール	水泳/ソフトボール	ソフトボール	バレーボール	体育理論	持久走	体育理論					
期間			4/13(月)～	4/20(月)～5/15(金)	5/18(月)～6/5(金)	6/8(月)～7/10(金)	9/2(水)～9/11(金)	9/14(月)～10/19(月)	10/26(月)～11/20(金)	11/24(火)～11/30(月)	1/12(月)～2/10(木)	2/15(月)～2/26(金)				
3年	体育	男子 2	オリエンテーション 陸上競技 (50・1000・1500m走)	スポーツテスト (体育祭練習)	ソフトボール	水泳/ソフトボール	水泳/バスケットボール	バスケットボール	サッカー	体育理論	種目選択					
		女子 2	陸上競技 (50・1000・1500m走)	スポーツテスト (体育祭練習)	バスケットボール	水泳/バスケットボール	水泳/ソフトボール	ソフトボール	バレーボール	体育理論	種目選択					
	保健 1	3 生涯を通じる健康				3 生涯を通じる健康 4 健康を支える環境づくり				4 健康を支える環境づくり						
期間			4/13(月)～	4/20(月)～5/15(金)	5/18(月)～6/5(金)	6/8(月)～7/10(金)	9/2(水)～9/11(金)	9/14(月)～10/19(月)	10/26(月)～11/20(金)	11/24(火)～11/30(月)	1/12(火)～1/29(金)					
スポⅡ	男子 2	ゴール型:ハンドボール ネット型:テニス		ベースボール型:ソフトボール		ゴール型:バスケットボール ネット型:バレーボール		ゴール型:サッカー ネット型:ハンドボール	ネット型:バドミントン		ゴール型:サッカー					
	女子 2	ゴール型:バスケットボール ネット型:バレーボール		ネット型:テニス					ベースボール型:ソフトボール		ネット型:バドミントン					
オリエンテーション			体育授業に関する諸注意/体づくりと体育理論の進め方/授業の進め方 など													
体づくり運動			毎時間の授業内で実施する。				体育理論				水泳・持久走					
保健 1学年			1単元「現代社会と健康」		2学年		2単元「生涯を通じる健康」		各学年の学習内容を実施。6単位程度以上実施。				各学年→水泳は、6時間程度実施。持久走は6時間程度実施+マラソン大会2時間 (マラソン大会の出欠席:2時間および10段階評価は3学期の成績に入れる。)			
保健 1学年			トレーニングノートの記入内容により学期末ごとに「10段階」で評価する。(学年共通)										スポーツテスト			
保健 1学年			1単元「現代社会と健康」										10段階評価を出し、1学期の評価に入れる。			

2 学 期	<p>B ギター</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①ギターの構造や奏法について理解することができる。</p> <p>②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①ギターやギターの音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギターの構造</li> <li>・ギターの基本的な奏法</li> <li>・ポジション表</li> <li>・音階練習 (1.2弦)</li> <li>・指の練習</li> <li>・「きらきら星」練習</li> <li>・実技テスト</li> </ul>	○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>①ギターの構造や奏法について理解している。</p> <p>②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現している。</p> <p>【思考・判断・表現】①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①ギターやギターの音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組んでいる。</p>	○	○	○	20
	<p>C 鑑賞「レ・ミゼラブル」</p> <p>歌唱「民衆の歌」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解する。</p> <p>②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。</p> <p>③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使用方等の技能を身に付け、表現することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わう。</p> <p>②音色、リズム、テキストュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考える。</p> <p>③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴く。</p> <p>④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①「レ・ミゼラブル」に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心をもち、</p> <p>②主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージカルの歴史</li> <li>・ミュージカルの特徴</li> <li>・ミュージカルの代表作</li> <li>・「レ・ミゼラブル」の時代背景と社会問題</li> <li>・鑑賞「レ・ミゼラブル」</li> <li>・歌唱「民衆の歌」</li> <li>・英語の読み</li> <li>・英語の意味</li> <li>・発声練習</li> <li>・歌唱練習</li> <li>・音楽用語 (表現・強弱等)</li> <li>・歌唱テスト</li> </ul>	○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解している。</p> <p>②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。</p> <p>③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使用方等の技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについて考えながら、ミュージカルの魅力を味わっている。</p> <p>②音色、リズム、テキストュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことや感受したことを考えている。</p> <p>③曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。</p> <p>④どのように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①「レ・ミゼラブル」に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心をもち、</p> <p>②主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>A 「さびしいカシの木」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもち、</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声練習</li> <li>・鑑賞、歌唱「さびしいカシの木」</li> <li>・歌詞の内容と表現</li> <li>・歌唱テスト</li> </ul>	○	○	<p>【知識・技能】</p> <p>①創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもち、</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
3 学 期	<p>A ミュージックベル</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①ミュージックベルの構造や奏法について理解することができる。</p> <p>②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組む。</p> <p>②アンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュージックベルの基本的な奏法</li> <li>・英語音名、イタリア語音名</li> <li>・グループ決め、担当決め</li> <li>・ミュージックベル用楽譜作り</li> <li>・グループ練習</li> <li>・グループ発表・鑑賞</li> </ul>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <p>①ミュージックベルの構造や奏法について理解している。</p> <p>②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組もうとしている。</p> <p>②アンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： 保坂 悠紀

使用教科書： （ 高校生の音楽 1 （教育芸術社） ）

教科 芸術 音楽 の目標：

【知識及び技能】

創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。  
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現することができる。 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
1 学 期	A 斉唱「校歌」「翼をください」 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組む。	・発声練習 ・鑑賞「校歌」 ・歌唱「校歌」 ・歌詞の内容と表現「校歌」 ・歌唱「翼をください」 ・歌詞の内容と表現「翼をください」 ・歌唱テスト「校歌」	○			【知識・技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。 【思考・判断・表現】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	B 合唱 【知識及び技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解する。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考える。 ②どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に取り組む。	・発声練習 ・参考音源鑑賞 ・各パート音取り ・パート練習 ・合唱 ・歌詞の意味 ・この曲ができるまで	○			【知識・技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 ②創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 ①音色・旋律・テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えている。 ②どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組んでいる。 ②歌詞の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
A 「のぼら」 【知識及び技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組む。	・発声練習 ・鑑賞「のぼら」 ・歌唱「校歌」 ・歌詞の内容と表現「のぼら」 ・歌唱テスト	○		○	【知識・技能】 ①創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現している。 【思考・判断・表現】 ①音色や旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10	



高等学校 令和8年度（1学年用）

芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1・2組：関崎）（3・5組：吉田）（4組：吉田）（6・7組：吉田）

使用教科書：（高校生の美術1 日本文教出版）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】美術の基礎的な知識・技術を学び、作品の制作に生かすことができる。

【思考力、判断力、表現力等】基礎的な知識と技術を基に、課題についての考えを深め、美的且つ効果的に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く作品に取り組むことができる。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
デッサンの見方と技術、色とかたちの基本的知識の修得、アイデアスケッチの方法とアイデアを深めるための技術、配色計画と彩色技術、レタリング技術を学び、制作に生かすことができるようにする。	与えられた課題に対して、学んだ知識と技術を基に、考えを深め、美的且つ効果的に工夫して表現することができる。	主体的に授業に取り組み、美術の授業を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く制作に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映							
1 学 期	A 単元 幾何形体のデッサン 【知識及び技能】 球のデッサンを通じて、デッサンの基礎的知識および技能を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	・直接光と反射光 ・陰影表現 ・ハッチング ・グラデーション ・空気遠近法	○			・反射光を理解し、的確に表現できるか。 ・陰影、特に影の形の確かさ。 ・ハッチングによる形体表現の技術。 ・グラデーションにより、滑らかな形の変化を捉えているか。 ・空気遠近法を理解し、遠近表現に生かすことができるか。 ・作品の完成度。		○		○	7
	B 単元 体育館履きのデッサン 【思考力、判断力、表現力等】 幾何形体のデッサンで学んだ知識と技術を体育館履きのデッサンに応用し、立体表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	・直接光と反射光 ・陰影表現 ・ハッチング ・グラデーション ・空気遠近法 ・輪郭線と稜線	○			・球のデッサンで学んだ基礎的技術を体育館履きのデッサンに応用できているか。 ・輪郭線より稜線を意識し、形体表現ができるか。 ・作品の完成度 ・授業に主体的に参加し、集中して制作しているか。			○	○	15
	C 単元 鑑賞 【知識及び技能】 鑑賞のアプローチの技術を学ぶ。西洋美術のルーツを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	・鑑賞の方法について ・ワークシートの使い方 ・グループでの話し合い ・作品についての解説				○	・授業を通じての気づきや、学んだことを的確に文章で表現できているか。		○	○	○
2 学 期	A 単元 相反するイメージの色彩構成 【知識及び技能】 色とイメージ、かたちとイメージの基本を理解する。アクリルガッシュで丁寧にむらなく彩色ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 トーン対比や色相対比、動対静のかたちの対比を用いて、相反するイメージを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	・色とイメージの関係について ・トーン概念について ・動的なかたちと静的なかたち ・かたちとイメージの関係について ・アイデアスケッチの方法 ・溝引きなどの彩色技術	○			・混色技術 ・彩色技術 ・色の対比、かたちの対比についての理解 ・作品のオリジナリティと表現力 ・作品の完成度 ・授業に主体的に参加し、集中して制作しているか。		○	○	○	24
	B 単元 鑑賞 【知識及び技能】 鑑賞のアプローチの技術を学ぶ。ルネサンス美術を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	・鑑賞の方法について ・ワークシートの使い方 ・グループでの話し合い ・作品についての解説				○	・授業を通じての気づきや、学んだことを的確に文章で表現できているか。		○	○	○

高等学校 令和 6 8

書道 科目 書道 I

教科：書道

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1 組：青山 （ 2 組：青山 （ 3 組：青山 ）（ 5 組：青山 （ 6 組：青山 （ 7 組：青山

使用教科書：（ 光村図書 書 I ）

教科 書道

の目標：

【知識及び技能】書表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。

【思考力、判断力、表現力等】作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。

【学びに向かう力、人間性等】書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図っているかどうか。	作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにしているかどうか。	書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 楷書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 楷書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	楷書について		○	○	○	○	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 行書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 行書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	行書について		○	○	○	○	○	○	○	5
2 学 期	c 単元 【知識及び技能】 草書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 草書の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 草書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	草書について		○	○	○	○	○	○	○	5
	D 単元 【知識及び技能】 仮名の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 仮名の作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	仮名について		○	○	○	○	○	○	○	5
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 漢字仮名交じりの表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに書写能力の向上を図ること。 【思考力、判断力、表現力等】 漢字仮名交じりの作品や書の文化の意味や価値を考え、書的美を捉えたりすることが出来るようにすること。 【学びに向かう力、人間性等】 漢字仮名交じりの伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養うこと。	漢字仮名交じりについて	○		○	○	○	○	○	○	5 合計 25



2 学 期	C 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級を用いた形・意味・用法を理解し、聞き取ったり、自分の意見を伝えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本のマンガとその形式について本文から必要な情報を読み取り、他者に意見を聞いたり、自分の考えや意見をまとめ、話すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 必要な情報を読み取ろうとしたり、話し手や書き手の意図・概要や要点を把握しようとする。また、情報や自分の考えを伝えようとする。また、情報や自分の考えを伝えようとする。また、情報や自分の考えを伝えようとする。	【題材内容】 日本のマンガの形式やその翻訳に関する留学生による発表 【言語材料】 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級 【言語の働き】 質問する、助言する、説明する、賛成する、理由を述べる 【一人1台端末の活用】 マンガを自分で作成	○	○	○	○	○	○	○	7				
	D 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。	【題材内容】 ザンビアのパナナの茎から作られるバナナペーパーへの日本の伝統技術貢献に関する講義 【言語材料】 関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S+seem+to不定詞 【言語の働き】 質問する、説明する、理由を述べる、誘う 【一人1台端末の活用】 ザンビアの伝統的文化を調べ、他国との文化の違いについて調べる	○	○	○	○	○	○	○	○	7			
	定期考査										○	○	○	1
	D 単元 Lesson 6 【知識及び技能】 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。	【題材内容】 人間の興味深い行動パターンに関する実験の手順や結果を解説する雑誌記事 【言語材料】 It+be動詞+形容詞+that節、S+V [be動詞以外+C]、S+V+O+C [形容詞] 【言語の働き】 質問する、説明する、発表する、提案する 【一人1台端末の活用】 人間の行動に関する動画を視聴し、その感想や仮説などを英語で書く。	○	○	○	○	○	○	○	○	7			
D 単元 Lesson 7 【知識及び技能】 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。	【題材内容】 プラスチックがもたらす環境破壊に関する論説文 【言語材料】 関係副詞where、関係副詞when、関係代名詞what 【言語の働き】 質問する、理由を述べる、描写する、説明する、発表する、報告する 【一人1台端末の活用】 プラスチックごみに関する話題やごみを減らす対策を考え、作文を書く。	○	○	○	○	○	○	○	○	7				
定期考査											○	○	○	1





高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （ 1 組～7 組：佐藤万治）

使用教科書： （ 最新情報 I / 実教出版 ）

教科 情報 の目標： 問題の発見・解決に向けての情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる資質・能力の育成

【知識及び技能】科目「情報 I」と同様

【思考力、判断力、表現力等】科目「情報 I」と同様

【学びに向かう力、人間性等】科目「情報 I」と同様

科目 情報 I の目標： 問題の発見・解決に向けての情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる資質・能力の育成

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術の問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技術を身につけているとともに、情報化の進展する社会の特質およびそのような社会と人間の関わりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○オリエンテーション・PC準備など 【知識及び技能】 授業のルール説明（ID管理など） 【思考力、判断力、表現力等】 ルールの必要性について考える 【学びに向かう力、人間性等】	・PC室端末について ・アカウントの説明 ○プリント配布	【知識・技能】 授業のルールに適したPC等の運用ができた 【思考・判断・表現】 ルールの必要性を理解し学習に取んできた 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的にPCを活用できた	○	○	○	4
	第1章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 情報化が進展する社会の特質について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じるについて問題意識を持つ 【学びに向かう力、人間性等】 SNSを利用したコミュニケーションの注意点について考え、自らの生活に反映させる。	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（PC教室）使用	【知識及び技能】 情報化が進展する社会の特質について理解した 【思考力、判断力、表現力等】 情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって生じるについて問題意識を持った 【学びに向かう力、人間性等】 SNSを利用したコミュニケーションの注意点について考え、自らの生活に反映させた	○	○	○	8
	第4章 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミングの意味を理解する 変数を使用したプログラミングの作成ができる 【思考力、判断力、表現力等】 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現できる 関数を活用したプログラムを設計し、効率的なプログラムを作成できる 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやフローチャートの表記に興味関心を示している 問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムの作成ができる	・教科書および自作プリントを使用 ・スライド提示 ○プリント配布 ○パソコン（PC教室）使用	【知識及び技能】 アルゴリズムとプログラミングの意味を理解した 変数を使用したプログラミングの作成ができた 【思考力、判断力、表現力等】 簡単なアルゴリズムを文章やフローチャートなどの図で表現できた 関数を活用したプログラムを設計し、効率的なプログラムを作成できた 【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムやフローチャートの表記に興味関心を示した 問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムの作成ができた	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

